

メディア連絡先：
ショウナ・シウダ
ライオンズクラブ国際協会
PR 部長
+1 (630) 272-8676
Shauna.Schuda@LionsClubs.org

即時リリース用

「奉仕を通じて世界の架け橋となっている」ライオンズクラブ国際協会
ローズ・パレードのフロートは、力を合わせれば、私たちは地域社会が
「難所を越える」手助けができることを世界に示しています

(米国カリフォルニア州パサデナ、2022 年 12 月 27 日) - [ライオンズクラブ国際協会](#)
[会](#)はニーズのある世界に奉仕しており、今年度のローズ・パレードの特別フロートで
はそのことを全面的に打ち出します。

「Turning the Corner（難所を越える）」は、第 134 回のホンダ提供「ローズ・パレード」のテーマです。ライオンにとって難所を越えるとは、地域や世界の人々のニーズと、2023 年に何百万人もの人々に希望をもたらす人道奉仕との間にあるギャップを埋めることを意味します。

150 万人以上のライオンズとレオのボランティアによる奉仕と、[ライオンズクラブ国際財団](#)からの惜しみない支援のおかげで、昨年度だけでも世界中の 4 億 9,500 万人を超える人々がより良い毎日を送り、より明るい未来に向かっていきます。思いやりのある人々が力を合わせ、自ら汗を流して、地域社会が改善に向けて「難所を越える」のを支援するとき、私たちはどんな課題に直面しても乗り越えることができます。

このビジョンを生き生きと伝えることができるよう、色鮮やかな 10 メートル余りのライオンズクラブ国際協会「奉仕を通じて世界の架け橋に」フロートが、奉仕事業を行って食料支援や環境保全を始めとする今日の最も切迫した世界的課題に取り組むことでニーズのある世界に奉仕しているライオンズとレオを称えます。

フロートの正面には、栄養価の高い食べ物がある庭の手入れをするライオンズが取り上げられています。彼らは、世界的な食糧危機に対する持続可能な解決策を見つけることにより、社会が「難所を越える」のを手助けします。フロートの後方では、ライオンズとレオが木を植えたりゴミを拾ったりして、環境を保護し、より健全な地域社会を築き、隣人たちの生活の質を向上させる手助けをしています。

「新年はお祝いの時であるだけでなく、振り返りの時でもあります。新年の抱負について思いを巡らしながら、人類のためになることを何かしましょう」とライオンズクラブ国際協会のブライアン・シーハン会長は述べています。「通りのゴミ拾いやフードバンクへの寄付といった小さな行動が、大きなインパクトを作り出すのです。さまざまな方法で日々変化をもたらしているチームに参加したい方は、地元のライオンズクラブにご連絡くだされば一層の効果が得られるでしょう」

「奉仕を通じて世界の架け橋に」フロートの主な搭乗者：

- ブライアン・シーハン（ライオンズクラブ国際協会国際会長）
- ロリ・シーハン（ライオン会員、奉仕のパートナーでありブライアン・シーハンの配偶者）
- ヘイリー・ペイズリー（2022 年度ライオンズクラブ学生スピーチコンテスト優勝者）

「私たちは、奉仕を通じて世界の架け橋となることで、何百万人、何千万人もの人々に手を差し伸べています。これこそが、ライオンズクラブ国際協会の、そしてライオンであることの醍醐味なのです」シーハン国際会長は言葉を続けます。「私たち全員が協力すれば、地域、そして世界が難所を越えるのを手助けでき、より多くの家族や子供たち、人々が、より健康的で幸せな生活を送ることができるようになるのです」

ライオンズクラブ国際協会。ニーズのある世界に奉仕する。

ライオンズクラブ国際協会は世界最大の奉仕組織です。49,000 を超えるクラブに所属する 140 万人以上のライオンズ会員と、ライオンズクラブ国際財団からの交付金の力強い支援を受けて、ライオンズクラブ国際協会は地域社会と世界が直面している多くの難題に取り組んでいます。地域および世界規模の奉仕活動を通じて、私たちは健康と福祉を改善し、地域社会を強化し、恵まれない人々に支援を提供しています。ライオンズクラブ国際協会は、未来を形作ると同時に思いやりの行動も形にしているのです。ライオンズが何であり、何をする団体なのかについて詳しくは、lionsclubs.org をご覧ください。

###